

(1) 鹿島組本店八重州橋方面より見たる景

實用本位なモダン建築

鹿島組本店の新築工事概要

設計施工 鹿島組
 位 置 東京市京橋區南大工町1番地
 工 程 起工 昭和3年3月下旬
 竣工 昭和4年3月中旬
 敷地面積 13坪
 總 延 坪 378坪2合8勺
 建物高位 地盤線ヨリ4階軒高迄52尺

——構造概要——

鐵骨鐵筋コンクリート造にして地下室共4階建、一部塔屋は5階なりとす。

基 礎 12尺總堀にて6寸の18尺の松杭打込割栗搗固め防水層の上に基礎盤築造せず延基礎とす。

各室配置 地階は倉庫、暖房機關室、配電室。
 一階は正面玄関、階段、大廊下(車寄)事務室、電氣部室、食堂、貽室、番人室、便所。
 二階、事務室(庶務)(經理)組長室及應接室、理事室、一接應接室、電話交換室、便所。
 三階は建築部室、工務係室、調査係室、應接室、日本間(客用)宿直室、店童寢室及便所。
 塔屋は圖書室、娛樂室、遊歩場及物干。

——外部仕上概要——

一階腰積は稻田石粗面仕上とし腰積以上の壁面は粗

面干歳石張りとし、柱形、バラベツト笠石及び方立上部持送りは稻田石とす、正面玄関軒蛇腹は美術界の新人香取正彦氏のブロンズヒールフ張付を用ひたり。

——内部仕上概要——

床 正面玄関は龍王石粗面仕上とし、大廊下は人造研出し、組長室及應接室並に其他の詰室は褐色ライトブロック張りとし廊下は青色ライトブロック張りとす。

天井 組長室及應接室は石膏彫刻を以つて裝飾す、其他は丸子プラスター塗仕上。

内部造作 組長室其他主要なる室は幅木は檜材模様彫付壁紙仕上とし其他の腰羽目共に五寸角淡綠色布目タイル張り天井丸子プラスター塗仕上とす。

暖房設備 高砂暖房のスチーム・オイバーナー装置とす。

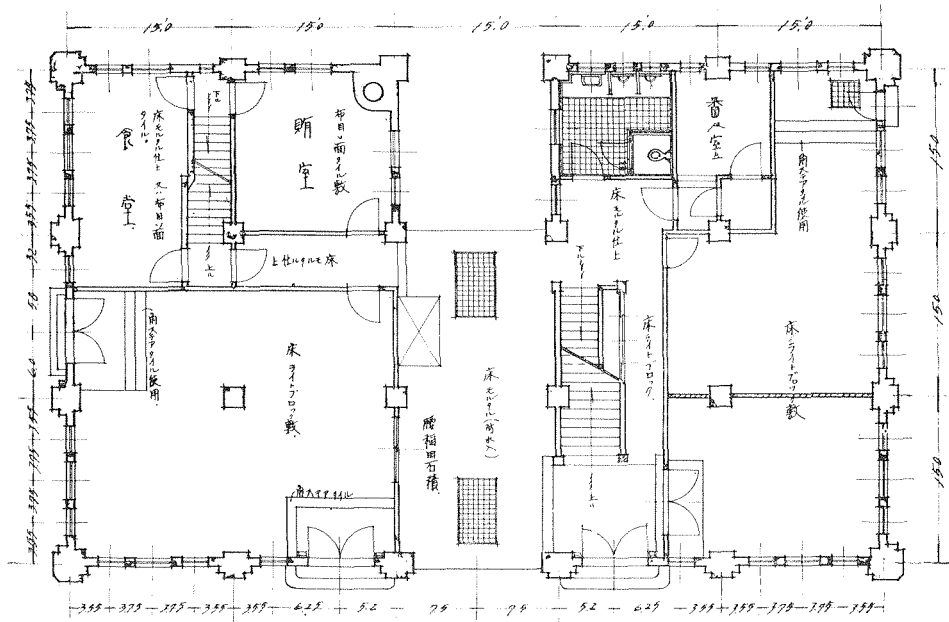
電燈設備 ダイヤモンド・グローブで一灯毎にもキャノピーを持つて明滅装置とす。

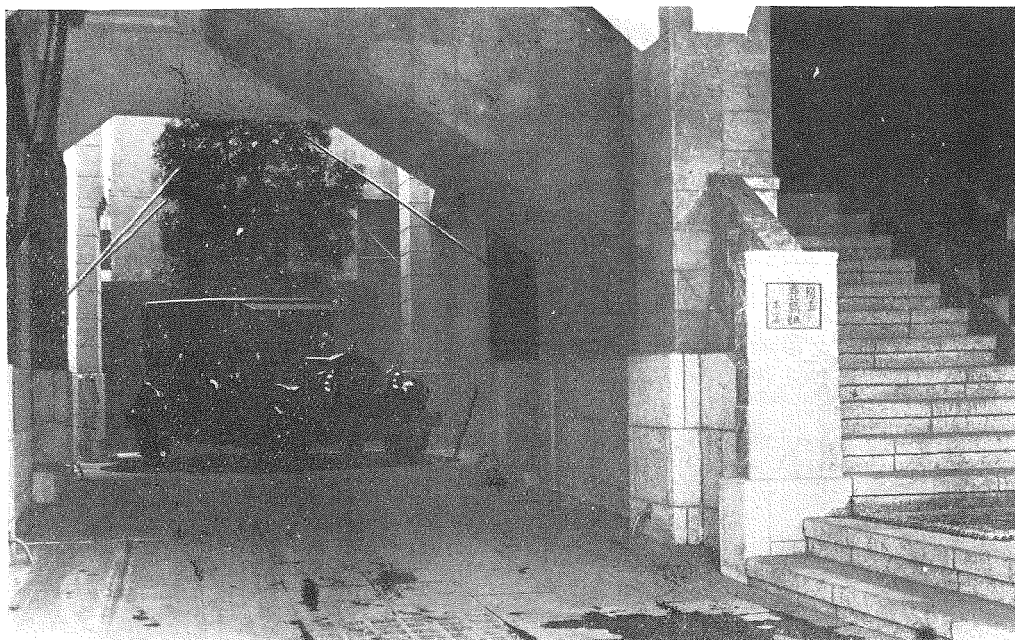
特設設備 本建築の最も異色とする處の設備は車寄せにタンテーパー(自動車廻轉臺)の装置と各事務室窓下に造戸柵を設け室内の亂雑を防ぐ設備、窓下床面に小窓を設け室内下層の換氣を充分ならしむる装置並にブラインダー正面三段廻轉窓等の特種設備は設計者の勞を多とするに足る。

(2) 鹿島組本店正立面圖及一階平面圖

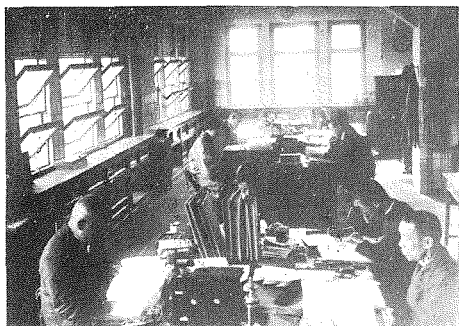


正面建図

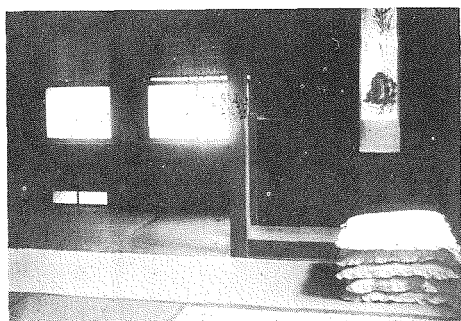




(3) 鹿島組本店正面玄関と自動車タンデープルの景



(4) 同上二階事務室



(5) 同上来客用寢室



(6) 同上組長應接室